

J級審判取得に関して

岩手県中体連バレーボール専門部
審判委員長 菊池 聡

県協会主催の県大会は、平成28年度から随行審判員制に移行しました。中体連としても例年岩手県バレーボール協会公認審判員資格取得講習会を実施していたところですが、今年度は県公認の新規登録は行わない事となりました。そこで中体連独自の資格として実施します。これについて解説いたします。

岩手県内で中体連関係の大会のみ有効とする資格を、昨年度（令和元年）より実施しております。理由は上記の様に随行審判制度を中学校関係でも義務づけて行っており、有資格者での運営となっています。3月開催予定の新規大会「中学校選手権」では初日の運営は第一試合から最終試合まで随行審判制度で運営を予定しています。

また、中総体や新人戦においても審判員は逼迫しており運営が厳しい状況（下記の参考を参照）にもあります。そこで6人制競技規則の理解・浸透を図りながら生徒に不利益にならないような試合をして頂きたいと日頃より考えています。例年行っている形とはなりません、多くの中学校指導者の方々にルールを理解して頂いた上で指導や大会協力を仰ぎたいと考えております。

今回はコロナ感染拡大の配慮より《資料2》のように、生徒の参加は午後のみとし各会場への集合は3校として運営します。受講される皆様は、午前中は江刺第一中学校で全員行い、午後は各会場へ分散移動する形となります。

また《資料2》10,必要経費のJ級審判員ワッペン代2,000円は、まだ完成しておりませんので、今回は徴収しません。完成後に購入して頂きたいと思っております。

尚、受講者多数の場合は受講希望者のチームから代表1名とさせて頂くことがございますのでご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

参考（他のカテゴリーの有資格者や運営に関して）

- ・小学生連盟では、保護者の方を中心に各チームに複数有資格者が居るようです。大会はその方々で運営されているようです。
- ・中体連では、協会主催の大会は随行審判制度。中体連主催ではJVA資格を有する中体連の先生と地方協会のJVA資格を有する方で共同で運営しております。JVA資格を有する中体連所属の先生方は現在18名居ますが、そのうち30代以下は4名しか居ません。
- ・高体連では、高体連の審判資格講習会を行い顧問の先生が有資格者となるように指導しており、高校生にも資格を付与しています。大会は地区大会と県大会1回戦は有資格者となった各校の先生方で主審・副審を行っており、資格を得た高校生は主に記録員として活動しているようです。
- ・大学連盟では、独自の審判講習会や地方協会の講習会に参加してチームに審判員が居ることが義務づけられています。1部では主審・副審は派遣審判員ですが他のコートアシスタントは全て自分達で行っております。また、2部以下では主審・副審も行うときがあります。